

## 市民病院の再整備について

### 1 概要

市民病院は、昭和 35 年に開設し、昭和 57 年度から平成 3 年度にかけて再整備を行いました。その後、医療需要の多様化や医療の進歩に対応し、医療機能の拡充や施設の増改築を行ってきましたが、その結果、特に施設の狭あい化が著しく、これ以上の医療機能の拡充だけでなく、現行の医療機器の更新も困難な状況となっています。

そのため、早急に再整備を進める必要があります。

### 2 検討経過

21 年 3 月	『横浜市立病院中期経営プラン（平成 21～23 年度）』 市民病院における取組「施設の老朽化・狭あい化対策」 ・再整備も含め、今後の計画について検討していきます。
21 年 6 月	『横浜市立病院経営委員会』（外部有識者で構成） 「横浜市立市民病院の老朽化・狭あい化対策について」等について諮問
23 年 8 月	『横浜市立病院経営委員会』 「横浜市立市民病院の老朽化・狭あい化対策について」答申受領 《主な内容》 <ul style="list-style-type: none"><li>・市民病院の老朽化・狭あい化の現状は、早急に改善すべきと判断した。</li><li>・高度急性期医療を担う病院としては狭く、医療機能の過密化により医療環境や医療職員の勤務環境が十分に確保されていない。</li><li>・施設機能が分散し、医療サービスの効率が低下していると思われる。</li><li>・市民病院は、速やかに建て替えを行うべきである。</li></ul>
24 年 3 月	『第 2 次横浜市立病院中期経営プラン（平成 24～26 年度）』 「横浜市立市民病院の老朽化・狭あい化対策」 ・老朽化・狭あい化対策として、再整備に向けた検討を進めます。
24 年 5 月 8 月	『横浜市立市民病院再整備検討委員会（局長級職員で構成）』開催 市民病院の再整備について全市的に検討

### 3 再整備の基本的な考え方

	現 病 院	新 病 院
(1)病床規模	650 床 一般 624 床 感染症 26 床	<u>650 床</u> ※ <sup>1</sup> 市民病院の将来的な退院患者数は高齢化に伴い増加する一方、平均在院日数の縮減により、1 日平均患者数は 34 年度頃までは現在と同程度が見込まれる。
(2)延床面積	43,248 m <sup>2</sup> 内がん検診 C : 4,212 m <sup>2</sup> 【1 床あたり面積】 (がん検診 C 含む) 66.5 m <sup>2</sup> /床 (がん検診 C 除く) 59.7 m <sup>2</sup> /床	<u>約 60,000 m<sup>2</sup></u> ※ <sup>1</sup> (650 床 × 90 m <sup>2</sup> /床 = 58,500 m <sup>2</sup> ≒ 60,000 m <sup>2</sup> ) <u>90 m<sup>2</sup>/床の根拠</u> (1) H13 年以降竣工の 500 床以上病院の部門別平均面積を元にした試算 86.4 m <sup>2</sup> /床 (含 : がん検 93.3 m <sup>2</sup> /床) (2) (1)に市民病院に必要な診療機能を増加させた場合の試算 88.5 m <sup>2</sup> /床 (含 : がん検 95.3 m <sup>2</sup> /床)
(3)建設地	保土ヶ谷区 岡沢町 56	<u>現在地またはその周辺地域 (別紙 1 ~ 2)</u> 現在の市民病院は市の中心である横浜駅に近接しており、また、市域の周辺部は地域中核病院がカバーしているため、現在地若しくは付近に立地することが重要 【その他考慮すべき条件】 交通アクセス、他病院との配置バランス、開院までのスケジュール 等
(4)医療機能	【特色】 ・救命救急センター ・地域がん診療連携拠点病院 ・地域医療支援病院 ・感染症指定医療機関 ・臨床研修指定病院 ・災害医療拠点病院 ・地域周産期母子医療センター 等	【有すべき医療機能について】 ※ <sup>1</sup> ・市民病院は、4 疾病 (がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病) ※ <sup>2</sup> 4 事業 (救急医療、周産期医療、小児医療、災害医療) をはじめとした <u>急性期医療や政策的医療、高度医療の提供という役割を果たすべきである。</u> ・災害時等の緊急時にも最後の砦となりうる病院、横浜市の中で求められる機能を長年にわたり果たしている病院の実現を期待する。 ・医療政策担当部局とも十分に連携しながら進めることが必要である。

※<sup>1</sup> 横浜市立病院経営委員会 答申 (23 年 8 月) より

※<sup>2</sup> 次期医療計画 (25 年度～) で明示すべき疾患として、新たに精神疾患が加えられる予定

### 4 再整備候補地の検討対象

(1)現在地及びその周辺 (2)羽沢方面 (3) 新桜ヶ丘方面 (4)岡野西平沼方面

上記検討対象は、横浜市立市民病院再整備検討委員会で検討している内容であり、関係者・地権者と具体的に協議しているものではありません。

上記以外も、必要に応じて検討対象としていきます。

### 5 今後の進め方

市会や市民のご意見等をいただきながら、まちづくりの視点等も含めて建設候補地の選定を進めるほか、新病院の医療機能、事業費等について、引き続き関係各局と検討を進めます。



